

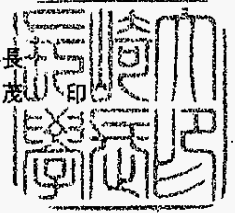
(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月6日

文部科学大臣殿

長崎大学長  
片峰 茂



下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	国立大学法人 長崎大学		②所在地:	長崎県長崎市文教町1-14	
③課程名:	生き生きと働く実践力のある助産師 キャリアアッププログラム(コアラー ダール助産師認定コース)		④正規課程/履修証明 プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日: 2015年4月10日
⑥責任者:	松坂 誠應 理事(教学担当) 副学長(教務担当)		⑦定員:	5名	⑧期間: 2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	産科医不足・分娩施設減少・集約化といった産科医療の危機的状況を打開する一策として、地域に根差した実践力のある助産師の能力向上、キャリアアップのための教育プログラムとその支援体制を構築し、長崎県における助産師の質向上と量の確保を目的とする				
⑩4テーマへの 該当の有無	有: 女性活躍	⑪履修資格:	助産師免許取得者で助産師の臨床経験3年以上を有する者		
⑫対象とする職 業の種類:	助産師				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)周産期医療におけるアップデート (得られる能力)周産期医療分野の最新の知識や技術、 な情報リテラシー、実践能力、対人関係能力、教育力・指導力、専門 自律して助産実践を行う能力、円滑な対人関係能力、教 職としての自律 育・指導力、組織マネジメント能力				
⑭教育課程:	本プログラムでは、1年目で「(1)Update な情報(情報リテラシー)を修得する科目」「(2)Update な実践能力を修得 する科目」「(3)対人関係能力を修得する科目」、2年目に「(4)教育力・指導力を修得する科目」「(5)専門性の意 識改革を修得する科目」を履修する。(1)(2)では、周産期医療におけるUpdateな情報(遺伝に関する知識、産科 合併症、母子感染等)やEBMの実践に向けての基礎知識とその実際(EBMとは、文献検索方法や論文の批判的吟 味等)を修得し、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児各期における助産実践や技術に活かせるようにする。また、(3) (4)(5)では、円滑な対人関係能力の修得や指導・教育力の向上、さらには専門性の意識改革に向け、実践的な 授業方法も取り入れながら自律した、助産実践のできる助産師を育成する。				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	全10単位取得				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書、長崎大学・長崎県産婦人科医会長崎県助産師会のジョイントサーティフィケート(認定書)				
⑰総授業時数:	10単位	⑱要件該当授 業時数:	10単位	該当 要件	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 100%
⑳成績評価の方法:	講義科目:e-ラーニング受講状況、e-ラーニング受講後の小テスト、対面授業での参加度 演習科目:演習時の実技・演習後のレポート 実習科目:レポート、評価表に基づいた臨床指導者評価				
㉑自己点検・評 価の方法:	周産期ネットワーク基幹病院関係者を含めた教育課程の編成の検討、およびプログラムの取組みの評 価を行う第三者評価委員会の設置				
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	受講生が所属する病院・診療所における上司や同僚により、プログラム受講前後の受講生の知識・技術 の修得度や行動変容に関する聞き取り調査を実施し、プログラム実施による効果を検証する				
㉓企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成)当プログラムの事業内容、教育内容については、生き生きと働く実践力のある助産師キャリア アッププログラム協議会及びプログラム開発委員会を組織し、定期的な開催により検討を行う (自己点検・評価) 生き生きと働く実践力のある助産師キャリアアッププログラム協議会及びプログラム開発委員会で、評価・点検を行 う。				
㉔社会人の受講 しやすい工夫:	就業中もしくは復職を希望する助産師が受講可能なように、時間や場所にとらわれないe-ラーニングによる学習を 用いている。授業に使用するPCは大学から貸与し、同じ環境での受講ができるようにしている。				
㉕ホームページ:	(URL)http://repro-global.main.jp/				

事務担当者名:	茂田 千砂子	所属部署:	長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター
連絡先:	(電話番号)095-819-7937 (E-mail)c-geta@nagasaki-u.ac.jp		

\*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。